

3/21  
木曜

# 医療費 負担2倍化

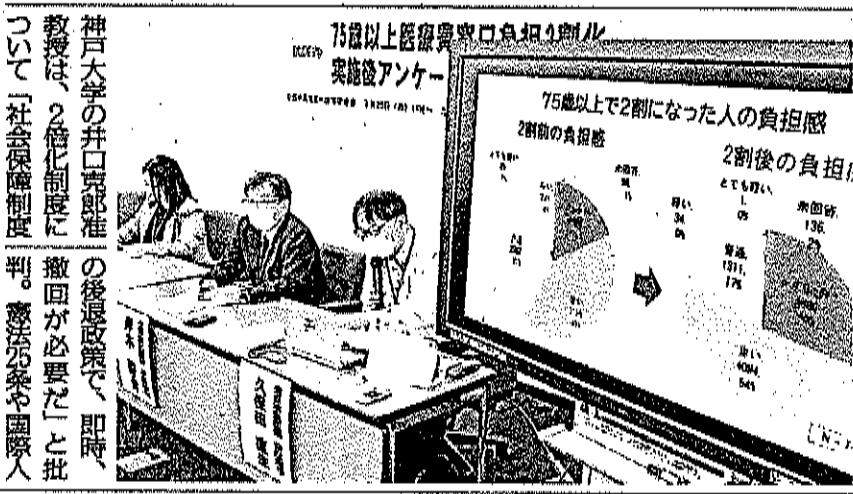
「ハビリ減らさうかと■薬減らした■生活負担つて会見

## 「とても重い」3割

岸田文雄政権が75歳以上の医療費窓口負担の2倍化について、昨年10月の実施後の影響をアンケート調査した全日本民医連機関連合会（全日本民医連）が20日、都内で会見し、当事者の約3割が「とても重い」負担を感じてこの問題を抱いたとしました。専門家は、この制度について「社会保障制度の後退政策」であり、医療運営を搞みました。

## 75歳以上調査 民医連会見

調査は、昨年12月から今年2月まで行われ、1万1000人以上が回答しました。75歳以上で2倍にならなかったと回答した7615人中、2000人（約6割）が「とても重い」負担感を抱いたと回答しました。当事者の声として、「薬が重いのやりハピリもとのサービスを減らさうか考えているのは苦しいが生きるために必要。（生活費）」「薬が重いのやりハピリもとのサービスをなくしてでも（捨てるにあれば）と思う」という声がありました。一方、2倍化反対の方の声がありました。ま



会見する全日本民医連の人たち  
=20日、東京都千代田区

権規約にも違反すると指摘した上で、社会保障への課税強化が「有効な方策だ」と話しました。

全日本民医連の井口啓介事務局長は、「定期受診や授業を受けねば基礎疾患や慢性的な病気を抱える高齢者にとって、相応程度の

しかしながら、手続きが必要です。同調査で、「手続きをしていない」と回答（複数回答）したのは415人。その半数が手続きの仕方がわからな

い」と回答しました。  
「佛教学の思想反対運動をする原因になる」と批判しました。  
「2倍化になった人に2000円まで外へ2000円以内に抑える「配分措置」があります。  
しかし、手続きが必要です。同調査で、「手続きをしていない」と回答（複数回答）したのは415人。その半数が手

虚損の利得を保つ必

要がある」と述べまし

た。  
教説等、「政府は」配